

今も求められている定時制

都立定時制存続を⑦

前回述べたように夜間定時制は、その時代時代で全日制高校に入れなかった生徒や全日制になじめなかった生徒たちの学び舎、高校教育のセーフティネットでした。不登校生徒が増え続け、外国人労働者の子どもたちも増加し、格差社会で新たな貧困も広がる中、夜間定時制を必要とする人はいなくなりません。夜間定時制の良さや特徴をまとめると次のようになります。

働くことで 学び成長し

昨秋のNHKテレビドラマ「宙わたる教室」で描かれていた通り、年齢も育ちも違う多様な生徒がともに成長している学校なのです。

▽働くことを勧める学校Ⅱいまは全日制でもアルバイトをしている生徒はたくさんいます。しかし、全日制の場合は「望ましくないけれど黙認する」というのが基本的な立場です。

夜間定時制は違います。生徒に昼間働くことを積極的に勧めるのです。ハローワークに引率し、仕事の相談にも乗ります。賃金や労働時間を公然と話題にし、場合によっては雇用主に話に行きます。夜間定時制では、7～8割の生徒が何らかのアルバイトに就いています。

きちんとアルバイトをしている生徒の方が学校も続くというのが夜間定時制の定説です。夜間定時制の生徒たちは、学校だけでなく働くことによっても学び、成長していきます。

(多賀哲弥・元都立定時制高校教員)

増加し、格差社会で新たな貧困も広がる中、夜間定時制を必要とする人はいなくなりません。夜間定時制の良さや特徴をまとめると次のようになります。

▽少人数でアットホームⅡ夜間定時制は「少人数だからダメ」ではなく「少人数だから良い」ということは前々回に述べました。授業でも人間関係でも少人数は大きなメリットです。学級も学校も少人数なので、教員や生徒全員の名前がわかります。「おい」とか「おまえ」と言うことはほとんどなく、名前で呼ぶのが通常です。

だから教員と生徒の関係がフレンドリーで、学校全体が「アットホーム」なのです。全日制や全日制と同じ規模のチャレンジスクールでは無理です。

小4から中3まで不登校で、私の勤務校に入學して4年間ほぼ皆勤で卒業した生徒がいます。「ここは学校らしくないから続いた」と言った言葉が忘れられません。

▽厳しい校則がない、強制や競争がないⅡ夜間定時制は校則らしい校則がありません。「法に触